

2022 年度

入学試験募集要項

ミュージック・リベラルアーツ専攻

総合型選抜

(外国人留学生を含む)

アドミッション・ポリシー

- 大学において専門的に音楽を学ぶにあたり、楽譜を読む力、音を聴く力、表現の基礎となるテクニック、様式を捉える力、楽典の知識が、一定のレベルに達していることが重要です。
- 音楽の学習には外国語も必要です。
- 専攻によっては、ピアノ演奏や新曲視唱、新曲視奏の基礎的な能力も必要です。

●ミュージック・リベラルアーツ専攻

音楽を愛し、音楽を専門分野として修得する意欲をもつとともに、高等学校までの基礎的な英語力があり、人や社会、歴史に幅広く関心をもち、主体性をもって学ぶ意欲のある学生を歓迎する。

東京音楽大学

2022 年度 東京音楽大学 ミュージック・リベラルアーツ専攻 総合型選抜 募集要項 (外国人留学生を含む)

1. 募集専攻および募集人員

ミュージック・リベラルアーツ専攻 若干名

2. 出願資格

次の(1)～(3)の条件のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者または 2022 年 3 月に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および 2022 年 3 月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等の学力があると認められる者または 2022 年 3 月までにこれに該当する見込みのある者

※上記に加え、ピアノ課題(C) c 課題で受験する場合は、以下(4)に該当していること。

- (4) 出願時点で国内外の音楽コンクールにおいて入賞した者または演奏家活動をしている者および 2022 年 4 月 1 日時点で 20 歳以下の者

3. 出願要件

次のすべての要件を満たす者とします。

- (1) 本学への入学を専願とする者
- (2) 本学のミュージック・リベラルアーツ専攻の定めるポリシーに同意する者
- (3) 次の条件のいずれかに該当する者。

出願時に証明書の原本を 1 種類提出すること。

- 実用英語技能検定 2 級 以上
- TOEIC® (L&R/S&W) 1150 以上(公開テストのみ)
- TEAP 225 以上
- TEAP CBT 420 以上
- TOEFL iBT® 42 以上
- IELTS 4 以上
- 国内外を問わず中高等教育において 1 年以上継続して主として英語で教育を受けた者
- 国際バカロレア(IB)資格取得者
- SAT 資格取得者(東京音楽大学の登録コード番号は 7804 です)

4. 選考方法

1 次試験は書類審査(志望理由書、履歴書等)、2 次試験は実技試験および面接(「英語」または「英語および日本語」)で選考します。2 次試験の実技試験および面接の課題は 6～16 ページを参照してください。

「対面式」と「非対面式」から選択することが可能です。
※実技試験をピアノ課題(C) c 課題、指揮で受験する場合は「対面式」で実施します。
非対面式を選択する場合、実技ごとに以下の機器が必要となります。

【作曲】

- ・パソコン(カメラ・マイク・スピーカーが内蔵または付属されている機種)
- ・スマートフォンまたはタブレット

※イヤホンまたはヘッドフォンを用意してください

【作曲以外】

- ・パソコン・スマートフォン・タブレットのいずれか

※パソコンの場合はカメラ・マイク・スピーカーが内蔵または付属されている機種を使用してください

※イヤホンまたはヘッドフォンを用意してください

5. 入学検定料

28,000 円

出願期間内に Web 出願サイトから決済手続きをしてください。お支払い完了後に決済完了メールが送信されます。

6. 日程一覧

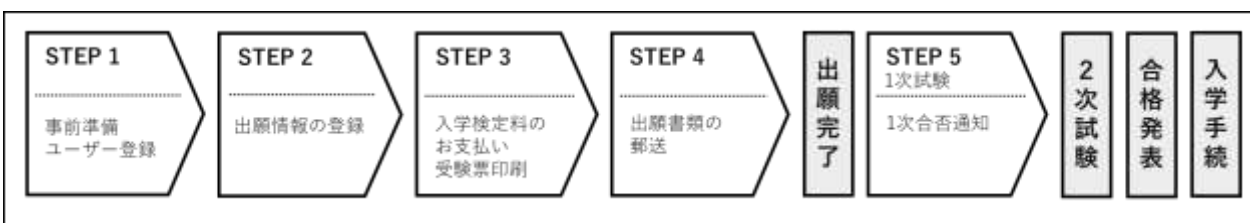
出 願 期 間	2021年10月1日(金)～10月8日(金) 消印有効	
1 次 試 験	書類選考	
1 次 試 験 合 否 通 知	2021年10月20日(水) 受験者に通知	
2 次 試 験	【弦管打楽器】 2021年11月3日(水・祝) 実技試験および面接 ※弦楽器(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)B課題選択者は、11月2日(火)に伴奏合わせを行います。	【声楽・ピアノ・古楽器・邦楽器】 2021年11月28日(日) 実技試験および面接 【作曲・指揮】 11月27日(土)、11月28日(日)
最 終 合 格 者 発 表	2021年12月7日(火)15:00～12月9日(木)17:00 本学ホームページにて発表 ※電話等での問い合わせには応じられません	
入 学 手 続 期 間	2021年12月8日(水)～12月17日(金) 消印有効	

7. 出願手続

(1) 出願の流れ

本学ホームページの「入試案内(学部)」にある「出願ガイド」内の「出願情報の登録」より、下図手順に沿って出願を行ってください。
※出願書類の郵送を終えて出願完了となります。

入試案内(学部)
<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam>

STEP 1

① Web 出願にあたっての事前準備 (詳しくは「出願ガイド」をご覧ください)

- ☐ インターネットに接続しているパソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかの機器
- ☐ メールアドレス

各キャリアのメールアドレスを使用する場合は、ドメイン「@grapecity.com」「@sbpayment.jp」からのメール受信ができるように設定を行ってください。
入学試験用に新たに作成される場合はフリーアドレス(@yahoo.co.jp や@gmail.com 等)の取得を推奨します。

- ☐ プリンター*
- ☐ PDF 表示・印刷ソフトウェア
- ☐ 本人写真(カラー写真データ)
- *自宅にプリンターがない場合、コンビニエンスストア等のマルチコピー機を使用してください。

② 「出願ガイド」からユーザー登録を行う

同サイト内の「Web 出願サイトはこちら」からユーザー登録を行ってください。
(「出願ガイド」: <https://www.tokyo-ondai.ac.jp/webentry/>)

※今年度本学受験講習会等で登録をしている方は再登録不要です。

※昨年度以前メールアドレス登録画面で「□来年度もこのメールアドレスを利用する」にチェックを入れた場合は再登録不要です。

③ 出願書類を確認・準備する

募集要項に記載されている必要な書類を確認・準備してください。

STEP 2

「出願ガイド」から出願登録を行う

募集要項、「出願ガイド」を確認してから、同サイト内の「Web 出願サイトはこちら」から出願登録を行ってください。

STEP 3

入学検定料のお支払い・受験票の印刷

「コンビニエンスストア」、「クレジットカード」、「Pay-easy」で期限までに検定料をお支払いください。

※検定料のほかに支払手数料が必要です。

検定料支払後、「受験票印刷のお知らせメール」に従って受験票を印刷してください。

STEP 4

出願書類の印刷・記入および出願書類郵送

①Web 出願サイトから志願票・宛名ラベルをダウンロードし、ページの拡大縮小はせずに、A4 サイズで印刷してください。

②本学ホームページ「入試案内(学部)」から「出願書類ダウンロード」を選択し、受験する入学試験の必要書類を印刷・記入してください。「出願書類チェックリスト」を使用して、出願書類が全て揃っているか確認し、他の書類と一緒に提出してください。

(「出願書類ダウンロード」:<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam>)

③レターパックライトを使用して、表面に宛名ラベルを貼り、出願書類を郵送してください。

※レターパックはポスト投函できますが、出願期限最終日に郵送する場合は、郵便局の窓口に出すことをお勧めします。郵送をもって出願完了となります。

STEP 5

1 次合否通知

1 次試験合格者には、東京音楽大学から「合格通知」が届きます。

1 次試験合格者は 2 次試験当日、STEP 3 で印刷した受験票を持参してください。

「非対面式」受験者は面接の際、受験票をお手元にご用意ください。

(2) 出願書類一覧

以下の該当する書類を一括して、宛名ラベルを貼付けの上、「レターパックライト」で郵送してください。なお、以下の書類は「A.Web 出願サイト」または「B.出願書類ダウンロード」よりダウンロードし印刷してください。

(「出願ガイド」内「Web 出願サイトはこちら」からアクセス)

A. Web 出願サイト(ユーザー登録・出願情報の登録、志願票・宛名ラベル印刷)

<https://lsg.grapecity.com/tokyo-ondai/App/Account/login>



B. 出願書類ダウンロード

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/examinee/exam>



	出願書類		注意事項
1	志願票	上記AのURLから印刷してください。	検定料支払い手続き完了後印刷してください。 (拡大・縮小せずA4で印刷) ※カラー印刷してください。
2	宛名ラベル		書類を郵送する際にレターパックに張り付けて使用してください。(拡大・縮小せずA4で印刷) ※カラー印刷してください。
3	曲目記入票	上記BのURLから印刷してください	ミュージック・リベラルアーツ専攻 総合型選抜の様式をダウンロードしてください。「対面式」・「非対面式」の様式より該当するものを提出してください。
4	志望理由書		日本語または英語
5	履歴書		「非対面式」受験者のみ提出
6	同意書		
7	出願書類チェックリスト		出願書類を郵送する前に各書類が揃っているかチェックし、出願書類と共に提出してください。

8	演奏実技動画	「非対面式」受験者のみ提出 提出方法詳細は7月にホームページで発表します。
9	調査書	出身高等学校長が作成し、厳封したもの。《開封無効》 ※海外の学校またはインターナショナルスクール出身者は、日本語もしくは英語の卒業(見込)証明書および成績証明書を提出してください。それ以外の言語で書かれたものは、大使館、領事館、日本語学校等の公的機関が発行した日本語の翻訳と一緒に提出してください。発行した公的機関の公印がない翻訳は受け付けません。 ※国際バカロレア(IB)資格取得者およびSAT資格取得者は、下記10(英語資格証明書)のみで構いません。
10	英語資格証明書 (1ページ「3.出願要件」参照)	英語資格に該当する証明書の原本(コピー不可)。証明書は返却しません。
11	伴奏譜	「対面式」受験者のみ提出 声楽およびヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスのB課題選択者(17ページ「伴奏譜の提出について」参照)

***外国籍の方は、以下の書類も提出してください。**

12	パスポートのコピー	氏名・生年月日・パスポート番号・写真・有効期限のページをA4サイズ用の用紙にコピーして提出してください。ビザのページではありません。
13	「日本語能力試験合否結果通知書」または「認定書」のコピー	外国人留学生で日本語能力試験N1 またはN2 に合格している場合は提出してください。
14	在留カードのコピー又は住民票	日本国内在住者のみ、提出してください。 ①居住する区・市役所で発行される出願時に有効な在留カードのコピー又は住民票を提出してください。 ②在留カードのコピーを提出する場合は、裏面に記載事項がなくとも、必ず表・裏両面をA4サイズの用紙にコピーしてください。 ③住民票を提出する場合は、在留資格・在留期間・在留期間満了日の記載を含むもので、出願時の3ヵ月以内に発行されたものを提出してください。

(3) 提出先

〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1 東京音楽大学入試課 電話03-6455-2754(直通)

8. 試験会場

- ・東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス(東京都目黒区上目黒1-9-1)
- ・東京音楽大学 池袋キャンパス(東京都豊島区南池袋3-4-5)

<アクセス>



※試験会場・日程の詳細はメールで送信する案内を参照してください。

【新型コロナウイルス感染症 (covid-19)に関するお知らせ】

※新型コロナウイルス(covid-19)感染状況により、試験方法が変更になることがあります。変更については本学ホームページ上で発表しますので、随時確認してください。緊急の連絡は登録のメールアドレスにお知らせします。

<追試験について>

「対面式」で出願した受験者で、新型コロナウイルス感染症 (covid-19) に関係する事由*により、受験できなかった場合は、入学検定料および出願内容をそのまま振替えて追試験を受けることができます。

- (1) 新型コロナウイルス感染症が疑われる発熱、咳などの症状がある者
 - (2) 新型コロナウイルスに感染して治癒していない者
 - (3) 新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者とされた人、または検査結果を待っている者
- [連絡先] 東京音楽大学入試課 電話 03-6455-2754 FAX 03-6455-2774

9. 入学手続

(1) 入学手続書類送付および学費の納入

合格者には、合格発表後速やかに願書記入の現住所に入学手続書類を郵送しますので、同封の案内に従って手続をしてください。期間内に手続を完了しない場合は、合格を取り消します。

※入学手続書類の提出は郵送(簡易書留)のみとします(期間最終日の消印有効)。

(2) 入学手続書類

①誓約書 ②その他本学が指定したもの

(3) 提出先

〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1 東京音楽大学入試課

(4) 学費その他の納入金

本学の学費については、以下のリンクをご覧ください。

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/about/expenses>



「教育充実協力金」について

本学では、教育施設および設備の一層の整備充実のため、入学生保護者の皆様に寄付をお願いしております。ご寄付は原則として任意でございますが、一口 10 万円で一口以上のご協力をよろしくお願いいたします。なお、協力金に関する資料は入学許可後にお渡しいたします。

【非対面式入試を選択した場合の実施方法について】

実施方法詳細は7月にホームページで発表します。

※指揮実技は「対面式」のみ実施。

1. 面接「英語」または「英語及び日本語」で行う(試験当日、本人の希望を確認する)。

2. 実技 以下の声楽、ピアノ、弦楽器、管打楽器、作曲、指揮、古楽器、邦楽器から実技をひとつ選択

■声楽

以下の課題(A)、(B)より1つを選択すること。

(A) 自由曲 2 曲(演奏の途中で打ち切ることがある。暗譜)

(B) 声楽専攻声楽芸術の課題

■ピアノ

以下の課題(A)、(B)、(C)より1つを選択すること。

(A) 自由曲 7-15 分程度(複数曲可。暗譜)

(B) 器楽専攻ピアノの課題

(C) 器楽専攻ピアノ演奏家コースの課題

※ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ演奏家コース)の受験結果により、ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ)に合格となる場合がある。

■弦楽器[ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、クラシックギター]

以下の課題(A) (B)より1つを選択すること。

(A) 自由曲 7-15 分程度(複数曲可。暗譜。伴奏なし)

(B) 器楽専攻弦楽器の課題(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスは2021年11月2日(火)に伴奏合わせを行います)

■管打楽器[フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、
バス・トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、ティンパニ、マリンバ、小太鼓]

以下の課題(A) (B)より1つを選択すること。

(A) 自由曲 7-15 分程度(複数曲可。暗譜の必要なし。伴奏なし)

(B) 器楽専攻管打楽器の課題

■作曲

(1) 与えられた動機による楽曲の創作(5 時間)

(2) 楽器演奏(自由曲 3 分以上。自作曲不可。暗譜)

■指揮

(1) 小論文(英語又は日本語 60 分)

(2) 聴音(単旋律)

(3) 指揮実技

F.ブルグミュラー:25 の練習曲

以下の 8 曲より当日指定

Nos.3, 4, 9, 15, 16, 19, 22, 25

(4) 演奏実技(ピアノを含む任意の楽器を演奏)※声楽を含まない

(5) 指揮担当教員による面接

■古楽器[リコーダー、リュート、チェンバロ、オルガン]

自由曲 7-15 分程度(暗譜の必要なし。伴奏なし。オルガンはペダルなしでもよい)

■邦楽器[箏(生田流)、長唄三味線、琵琶(鶴田流) 古典尺八]

自由曲 5 分以上(複数曲可。暗譜)

声楽専攻

声楽芸術

すべて暗譜で歌うこと。伴奏者は大学が用意する。

(1) 課題曲：次の課題曲表から 3 曲を選ぶこと。

- ・「対面式」受験者：その中から当日 1 曲指定する。
- ・「非対面式」受験者：3 曲全曲を演奏動画として提出する。

(「非対面式」受験の詳細については、7 月に本学ホームページで発表する)

※歌詞は原語、暗譜で歌うこと。

※「対面式」受験者の伴奏者は大学が用意する。

※「対面式」受験者は、演奏の途中で打ち切る場合がある。

※() 内のアルファベットは調を表す。「対面式」受験者で、これら以外の調で歌う場合は移調譜を出願書類と共に提出すること。

No.	曲 名	作曲者
①	Già il sole dal Gange (B, As, G)	A. Scarlatti
②	Se tu della mia morte (g, f, e)	A. Scarlatti
③	Sento nel core (g, f, es)	A. Scarlatti
④	Lasciar d' amarti (g, f, d)	F. Gasparini
⑤	Star vicino (A, B, G)	L. Mancia (伝 S.Rosa)
⑥	Sebben, crudele (e, d, c)	A. Caldara
⑦	Vergin, tutto amor (d, c, h)	F. Durante
⑧	Nina (g, fis, e, d)	作曲者不詳
⑨	Nel cor più non mi sento (F, G)	G. Paisiello
⑩	Sogno (B, As, Ges)	F. Tosti
⑪	An Chloe (Es, C)	W. A. Mozart
⑫	Ich liebe dich (G, F)	L. v. Beethoven
⑬	An die Musik (D, C, B)	F. Schubert
⑭	Geheimes (As, F, Es, D)	F. Schubert
⑮	Lachen und Weinen (As, F, E)	F. Schubert
⑯	Die Lotosblume (F, Es, Des)	R. Schumann
⑰	Widmung (As, Ges, F)	R. Schumann
⑱	Dein blaues Auge (Es, D)	J. Brahms
⑲	Sonntag (G, F, Es)	J. Brahms
⑳	Zueignung (C, A, G)	R. Strauss
㉑	秋の月 [山田耕柞 編曲] (h)	滝 廉太郎
㉒	荒城の月 [山田耕柞 編曲] (1,2 番) (d, c)	滝 廉太郎
㉓	母 (As, G, F)	小松 耕輔
㉔	この道 (1,2 番) (E, D)	山田 耕柞
㉕	北秋の『沙羅』より (D, Des)	信時 潔
㉖	行々子『沙羅』より (Fis, F)	信時 潔
㉗	浜千鳥 (Es, C)	弘田 龍太郎
㉘	浜辺の歌 (1,2 番) (As, F)	成田 為三
㉙	ゆりかご (E, D)	平井 康三郎
㉚	むこうむこう (F)	中田 喜直

(2)自由曲:1曲(4分以内)。ただし、(1)の課題曲表以外の曲目とする

※日本歌曲、ミュージカルナンバー可*。

※オペラ・アリアは原調で歌うこと。

※伴奏譜を出願書類と共に提出のこと(前奏、間奏、後奏のカット可。その他の部分のカットが記載されている場合は、本学で確認し、内容によっては訂正を求めることがある)。

*ミュージカルナンバーについて

・訳詞による歌唱可。言語は限定しない。マイクの使用不可。伴奏譜は出版譜に限る。

器楽専攻

ピアノ

暗譜で演奏すること。

次のaまたはb課題を選択すること。

a課題

(1)J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲(プレリュードとフーガ)

※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。

(2)次の(イ)～(ホ)の練習曲集より任意の1曲

(イ)モシュコフスキー Op.72

(ロ)クレメンティ

(ハ)チェルニー Op.740 (50番練習曲)

(ニ)モシェレス

(ホ)ショパン Op.10、Op.25(Op.10 No.6、Op.25 No.7を除く)

(3)自由曲(5分以上 8分程度。複数曲可)

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

b課題

自由曲(12分以上 17分程度。1曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること)

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

ピアノ演奏家コース

暗譜で演奏すること。

次のa、b、cより選択すること。

a課題

(1)J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲(プレリュードとフーガ)

※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。

(2)ショパン『練習曲集』Op.10、Op.25より任意の2曲(Op.10 No.6、Op.25 No.7を除く)

(3)次の①または②を選択すること。

①(イ)～(ト)の練習曲集より任意の1曲

(イ)リスト

(ロ)ドビュッシー

(ハ)スクリャービン Op.8、Op.42、Op.65

(ニ)ラフマニノフ Op.33、Op.39

(ホ)プロコフィエフ Op.2

(ヘ)バルトーク Op.18

(ト)リゲティ

②ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタの中から、任意の1楽章

(4)自由曲(12分以上 15分程度。複数曲を演奏する場合は、楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること)

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

b課題

自由曲(25分以上 30分程度。1曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること)

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

c 課題 ※「対面式」のみ実施

次の(1)～(5)をあわせて 60 分以上のプログラムを組むこと。

※曲順は当日試験委員が指定する。※暗譜で演奏すること。

- (1) J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲（プレリュードとフーガ）
- (2) ショパン『練習曲集』Op.10, Op.25 より任意の 3 曲。
- (3) 次の練習曲集の中から、任意に 1 曲を選択すること。

(イ) リスト

(ロ) ドビュッシー

(ハ) スクリャービン Op.8, Op.42, Op.65

(ニ) ラフマニノフ Op.33, Op.39

(ホ) プロコフィエフ Op.2

(ヘ) バルトーク Op.18

(ト) リゲティ

- (4) ベートーヴェンのソナタより任意の 1 曲（全楽章）

- (5) 自由曲 ロマン派および近現代の作品から自由選択

※ピアノ演奏家コース c 課題で合格した者は、受験結果により「特別特待奨学生」として在学期間の学費全額または理事会の定める額を免除する場合があります。ただし、合格しても奨学金対象者にならない場合があります。

弦楽器

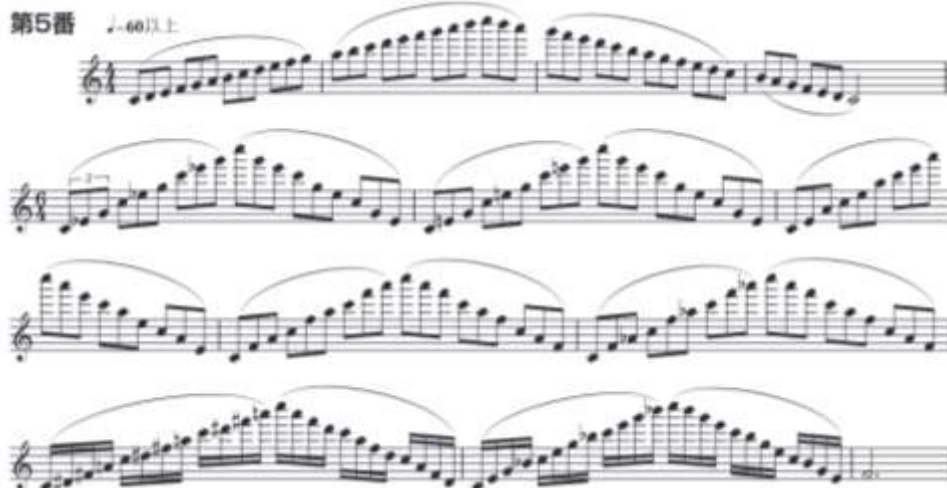
ヴァイオリン

(1) 音階および分散和音

Carl Flesch: Scale system (C. フレッシュ『スケール・システム』)より、任意の長調または短調を選び、第 5、6、7、8 番を演奏する。運指の指定なし。

- ① 第 5 番は冒頭から 12 小節目までを演奏する。♩ = 60 以上（スラーは下記の C-dur に準ずる）
- ② 第 6、7、8 番は各々冒頭から 4 小節目までを、速やかに続けて演奏する。♩ = 60 以上（スラーは 16 分音符 4 個以上とする。1 小節 2 弓でも可。下記の第 6 番参照）

第5番 ♩=60以上



第6番 ♩=60以上



(2) 練習曲

P. Rode, J. Dont (Op.35), N. Paganini の練習曲、カプリスより任意の 1 曲

(3) 任意の協奏曲より第 1 楽章（カデンツァを含む）

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること（出版譜に限る）。

※演奏によりヴィオラに適性ありと認め得る受験者は、ヴィオラで合格となる場合がある。

(1) 音階および分散和音

Carl Flesch: Scale system より、任意の長調または短調を選び、第 5、6、7、8 番を演奏する。運指、運弓の指定なし。

- ① 第 5 番は冒頭から 12 小節目までを演奏する。♩=60 以上(スラーとリズムは p.9 の譜例に準ずる)
- ② 第 6、7、8 番は各々冒頭から 4 小節目までを、速やかに続けて演奏する。♩=60 以上(スラーは 16 分音符 4 個以上とする)

(2) B. Campagnoli: 41 Caprices (B. カンパニョーリ『41 のカプリース』) から任意の 1 曲、または同程度もしくはそれ以上の難易度の任意の 1 曲

(3) 次の(イ)～(ニ)より任意の 1 曲

(イ) Johann Christian Bach: 協奏曲ハ短調より 第 2 楽章、第 3 楽章(カデンツァを含む)

(ロ) Carl Stamitz: ヴィオラ協奏曲ニ長調作品 1 より 第 1 楽章(カデンツァを含む)

(ハ) Franz Hoffmeister: ヴィオラ協奏曲ニ長調 より 第 1 楽章(カデンツァを含む)

(ニ) 上記の(イ)～(ハ)と同程度もしくはそれ以上の曲から 1 曲(出版社の指定なし)

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

※ヴァイオリンによる受験可。出願書類の志望欄にヴィオラと記入し、ヴァイオリンの課題で受験すること。

チェロ

(1) 音 階

任意の長調、短調を 4 オクターヴ(4 音を 1 弓で演奏すること)

(2) 練習曲

次の(イ)～(ハ)より任意の 1 曲

(イ) D. Popper: Hohe Schule des Violoncellspiels, Op.73 (ポッパー:40 の練習曲)

(ロ) J. L. Duport: 21 études (デュポール:21 の練習曲)

(ハ) A. Schroeder: 170 foundation studies for violoncello, 2 (シュレーダー:170 の基礎練習第 2 巻)

(3) 任意のチェロ協奏曲より第 1 楽章または最終楽章

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

コントラバス

(1) 音階および分散和音

次の楽譜を演奏すること。運指の指定なし。



(2) 下記のいずれかを選択すること。

(イ) 任意のソナタより第 1 楽章と第 2 楽章

(ロ) 任意の協奏曲より第 1 楽章または最終楽章

※オーケストラチューニング、暗譜で演奏すること。

※(2)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

(1) F. J. Naderman : 7 Sonates progressives, Op. 92 より任意の第 1 楽章

(2) 自由曲 (J. L. Dussek のソナタまたは同程度の難易度の作品) 1 曲

※暗譜で演奏すること。伴奏なし。

クラシックギター

(1) F. Sor または H. Villa-Lobos の練習曲より任意の 1 曲

(2) 自由曲 1 曲

※暗譜で演奏すること。伴奏なし。

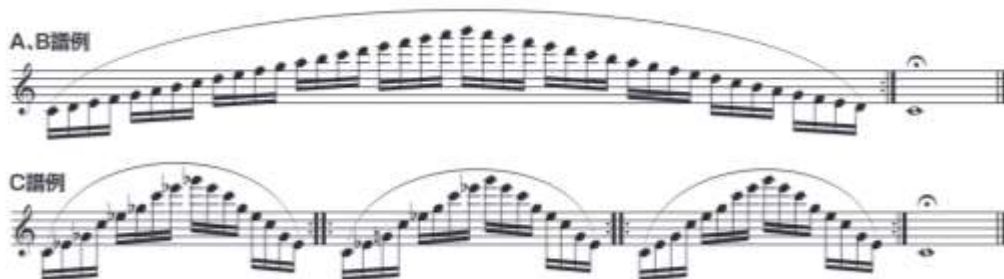
木管楽器

フルート

(1) 音階および分散和音

M. Moysé: Exercices journaliers pour la flûte (M. モイーズ『フルートのための日課練習』)より 長音階 (A)、短音階 (B)、分散三和音 (C)を演奏する。

演奏箇所は、9 月 7 日(火)、本学ホームページ上で指定する。♩ = 60(譜例参照)



(2) J. Andersen : 24 Studies for flute, Op. 21 (J. アンデルセン『24 のエチュード 作品 21』)より No. 9, No. 22

(3) W. A. Mozart : フルード協奏曲 第 1 番 ト長調 K. 313 より第 1 楽章 (カデンツァは含まない)

※いずれも版の指定なし。暗譜の必要なし。

※「対面式」受験者の(3)の伴奏者は大学が用意する(楽譜の提出不要)。前奏は Solo の4小節前より始める。

オーボエ

(1) 音 階

次の A、B いずれかの音型によって長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は 9 月 7 日(火)、本学ホームページ上で指定する。暗譜。



(2) F. W. Ferling : 48 Etudes, Op. 31 (F. W. フェルリンク『48 のエチュード』) Nos. 5-10 の中から、9 月 7 日(火)、本学ホームページ上で指定する。

※(2)は版の指定なし。暗譜の必要なし。

(1) 音 階

R. Eichler: Scales for Clarinet より各調の 1 番をスラーで演奏すること。調性は 9 月 7 日(火)、本学ホームページ上で指定する。暗譜。

(2) E. Cavallini : 30 Capricci (Ricordi) より Nos. 16, 19, 22 の 3 曲。演奏箇所は 9 月 7 日(火)、本学ホームページ上で指定する。

(3) 次の 2 曲のうちいずれかを演奏すること。

C.M.v. ウェーバー: クラリネット協奏曲 第 1 番 ヘ短調 作品 73 より

第 1 楽章(Baermann のカデンツを含む)。前奏は Solo の 10 小節前より。

C.M.v. ウェーバー: クラリネット協奏曲 第 2 番 変ホ長調 作品 74 より

第 1 楽章。前奏は Solo の 6 小節前より。

※「対面式」受験者の伴奏者は大学で用意する(楽譜の提出不要)。

ファゴット

(1) 音 階

次の音型によって、長音階と和声的短音階を演奏すること。調性、スラー等は 9 月 7 日(火)、本学ホームページ上で指定する。暗譜。



(2) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op. 8. Vol. 2 の Nos. 1-15 より、9 月 7 日(火)、本学ホームページ上で 2 曲指定する。

(3) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op. 8. Vol. 2 の Nos. 22-43 より任意の 1 曲

※(2)(3)は暗譜の必要なし。

サクソフォーン

⇒ アルト・サクソフォーンで演奏すること。

(1) 音 階

次の音型によって、長音階と和声的短音階をスラーで演奏すること。調性は全調の中から、9 月 7 日(火)、本学ホームページ上で指定する。暗譜。繰り返しなし。

音階譜例



(2) F. W. Ferling : 48 études pour tous les saxophones (F. W. フェルリンク『サクソフォンのための 48 の練習曲』[M. ミュールによる増補改訂版] (A. Leduc)) より任意の奇数番号 1 曲と任意の偶数番号 1 曲の計 2 曲を演奏すること。

(3) 自由曲 1 曲 (編曲作品可。抜粋の場合は、楽章等を専攻別曲目記入票に明記すること)

※(2)(3)は暗譜の必要なし。

金管楽器

共通課題（音階および分散和音）

次の例にしたがって、長音階と短音階を暗譜で演奏すること。調性、音域は9月7日(火)、本学ホームページ上で指定する。



ホルン

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は9月7日(火)、本学ホームページ上で指定する。

(2) W. A. Mozart : ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K. 447 より 第1楽章（カデンツァなし）

※(2)は暗譜の必要なし。「対面式」受験者の伴奏者は大学が用意する(伴奏譜の提出不要)。前奏は Solo の4小節前より始め、それ以降のカットなし。

トランペット

(1) 分散和音

以下の音型を実音 B-dur で開始し、順次 E-dur まで下がること。暗譜。



(2) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は9月7日(火)、本学ホームページ上で指定する。

(3) J. B. Arban : Fantaisie Brillante (華麗なる幻想曲)より主題と変奏曲 I、II、III

Arban's Complete Conservatory Method 所収

※(3)は暗譜の必要なし。「対面式」受験者の伴奏者は大学が用意する(伴奏譜の提出不要)。序奏なし。[使用楽譜]J. B. アーバン『12の幻想曲とアリア』No.3 (ISR Collection, 全音楽譜)

トロンボーン

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は9月7日(火)、本学ホームページ上で指定する。

(2) J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone. Book 1. Edited by Alan Raph (G. Fischer) より No. 8

(3) G. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (G. コブラッシュ『60のエチュード(トロンボーン)』(全音楽譜))より No. 15、No. 40

※繰り返しなし。暗譜の必要なし。

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は9月7日(火)、本学ホームページ上で指定する。

(2) O. Blume : 36 Studies for Trombone with F Attachment (C. Fischer) より
Nos. 5、23、25

※暗譜の必要なし。

テューバ

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は9月7日(火)、本学ホームページ上で指定する。

(2) 練習曲

G. Kopprasch: 60 Selected Studies (R. King Music) Nos. 12、14、16、20、22

M. Bordogni: 43 bel canto studies (R. King Music) Nos. 1、4、7、12、14

以上の中から、9月7日(火)、本学ホームページ上で指定する。「対面式」受験の演奏は途中でカットする場合がある。

(3) J. S. Bach : Air and Bourrée (Wm. J. Bell 編曲)

※暗譜の必要なし。伴奏なし。

ユーフォニアム

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は9月7日(火)、本学ホームページ上で指定する。

(2) J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone の Nos. 3、4、5 より、9月7日(火)、
本学ホームページ上で指定する。

(3) J. B. Arban : Variations on a Song “Vois-tu la neige qui brille” (The Beautiful Snow) (「輝く雪」の歌による変奏曲) *Arban's Complete Conservatory Method* 所収

※(2)(3)は暗譜の必要なし。版の指定なし。

※(3)の「対面式」受験者の伴奏者は大学が用意する(伴奏譜の提出不要)。前奏なし。

[使用楽譜] J. B. アーバン『12の幻想曲とアリア』No. 5 (ISR Collection, 全音楽譜)

打楽器

ティンパニ、小太鼓、マリンバのいずれかの課題で受験すること。

ティンパニ

- (1) ロール $pp \text{ — } ff \text{ — } pp$ Es(変ホ) (30 秒以上)
- (2) R. Hochrainer : Etüden für Timpani. Heft 1 (Doblinger) の Nos. 19、26、39、40、43、44 より、9 月 7 日(火)、本学ホームページ上で指定する。
- (3) 小太鼓による 2 つ打ち (楽器は各自持参のこと) (響き線ありで演奏すること)
- (4) マリンバによる 2 オクターヴの長音階と短音階。調性は 9 月 7 日(火)、本学ホームページ上で指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。

小太鼓

- (1) 2 つ打ち、ロール $pp \text{ — } ff \text{ — } pp$ (30 秒以上) (響き線ありで演奏すること)
- (2) A. J. Cirone : Portraits in Rhythm の Nos. 1、4、12、13、31 より、9 月 7 日(火)、本学ホームページ上で指定する。
- (3) マリンバによる 2 オクターヴの長音階と短音階。調性は 9 月 7 日(火)、本学ホームページ上で指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。

マリンバ

- (1) 3 オクターヴの長音階、短音階、分散和音。調性は 9 月 7 日(火)、本学ホームページ上で指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。
- (2) M. Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred Music) の 39 Etudes より XV (15 番)。
- (3) 自由曲 (伴奏なし)
- (4) 小太鼓による 2 つ打ち (楽器は各自持参のこと) (響き線ありで演奏すること)

■受験上の注意

- ①試験当日の集合時間など受験に関する詳細は、試験当日一週間前までに通知しますので、必ずご確認ください。
- ②試験当日の大きな流れは原則として以下のとおりです。定められた時刻までに集合場所に集合し、以降は全て係員の指示に従ってください。
集合・受付 → **直前練習** → **試験**
- ③実技試験において集合時刻に遅れた者は受験を許可しません。やむを得ない事情(公的事情)により遅刻をした場合は、直ちに係員に申し出てください。
- ④練習室は貸出しません。
- ⑤試験当日に持参するもの
 - ・受験票(各自で忘れずに印刷してください。受験票を持たない者は入構できません)
 - ・筆記用具
 - ・昼食(試験が昼食時間におよぶ場合)
- ⑥保護者の入構はできません。
- ⑦服装については、特に指定しません。

■出願書類の記入・提出に関する注意

Web 出願サイトでユーザー登録を行った後、本学ホームページから必要書類を印刷します(3～4 ページ参照)。印刷した出願書類とそれ以外の必要書類(調査書等)は、すべて揃っていることを確認の上、レターパックに封入し、宛名ラベル(Web 出願サイトにて印刷)を貼り付けた上で期限内に郵送にて提出してください。本学の窓口では受け付けません。

出願書類の記入については、以下の注意事項をよく読み、誤りや漏れのないよう記入してください。

- (1) 各出願書類は、黒、青インクまたはボールペンを使用し、文字は楷書で、数字は算用数字で正確に記入してください。書き損じた場合は、二重線を引いて訂正印を押し、空いているところに記入してください(修正液・修正テープは使用しないでください)。
- (2) 該当欄は記入または○で囲んでください。※欄は記入不要です。
- (3) 願書および受験票には Web 出願サイトでアップロードした写真が用いられます。カラー、正面上半身脱帽、縦4:横3の比率で、3ヵ月以内に撮影したものを Web 出願サイトにアップロードしてください。眼鏡等の有無は問いません。
- (4) 曲目記入票について
 - ①演奏する曲目、作曲者、調名、作品番号、楽章等まで該当する欄に詳しく記入してください。
 - ②作品番号は、「Op.30 No.2」のように明確に、漏れのないよう記入してください。
 - ③楽章等の記入は、「第1楽章」「第2楽章」と「第」を入れて記入してください。
 - ④曲目等の記入は、特に指定がなければ、邦語、原語どちらでも構いません。
 - ⑤自由曲で一部省略する場合は、その箇所を記入してください。
 - ⑥出願後は、受験曲名、調の変更(訂正)は認めないので、間違いのないように正確に記入してください。
 - ⑦曲目記入票に記入された事項(作曲者、曲目、調名、平均律巻名、楽章等)が試験で演奏したものと異なる場合、原則として、失格になりますので注意してください。
- (5) 伴奏譜について(対面式受験者のみ)
声楽およびヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの B 課題選択の志願者は、伴奏譜を出願書類に同封してください。伴奏譜の作成方法等は 17 ページ「伴奏譜の提出について」を参照してください。

※個人情報の取り扱いについて

- ①本学は、志願者の出願書類に記載された個人情報および入学試験の成績を入学試験業務に利用します。なおこれらの個人情報は個人情報保護法に則り万全の態勢で管理します。
- ②本学は、上記の個人情報を大学入学選抜および大学教育の改善のための調査・研究や学術研究の資料としても利用します。調査・研究結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。
- ③本学は、願書記載事項のコンピュータ登録業務、受験票、合格证、入学手続書類等の発送の業務を、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合があります。

■伴奏譜の提出について

声楽およびヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスのB課題選択で受験される方は、以下の要領で伴奏譜を出願書類と共に提出してください。

(1) 提出する伴奏譜

声楽

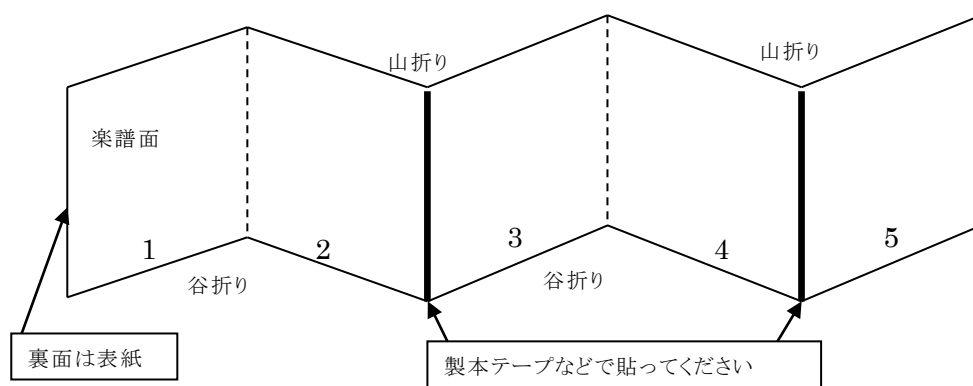
- ・自由曲
- ・課題曲で課題曲表のカッコ内に記入してある調以外で受験する場合の移調譜
(課題曲カッコ内の調で受験する場合は、伴奏譜の提出は必要ありません)

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスのB課題

- ・自由曲

(2) 伴奏譜作成手順

- ・楽譜は1ページA4縦とし、ページ抜けがないようにしてください。
- ・1曲ごとに表紙をつけ、表紙右下に①作曲者・曲名、②自由曲伴奏譜・移調譜の区別、③専攻・コース名または楽器名、④氏名を記入してください。
- ・2ページ以上になる場合は、アコーディオン状に折って、製本テープ(無地のマスキングテープ)等で貼ってください。セロファンテープは使用しないでください。
- ・書き込みは不可とします。コピーの濃淡等を調整の上、鮮明な楽譜を提出してください。
- ・手書きの伴奏譜を作成する場合は、定規等を使用し、正しく丁寧に記入してください。また、鉛筆ではなく、黒ボールペン等で清書した譜面を提出してください。



<表紙の書き方>※裏面は楽譜1ページ目

■奨学金・経済的支援制度について

本学の奨学金・経済的支援制度については、以下のリンクをご覧ください。
<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/12765.php>



■学生寮（女子）について

自宅からの通学が困難（通学時間3時間以上を目安）な学生（女子）に対し、学生寮が設けられています。
※目白台学生寮（女子寮）は2022年4月より、池袋キャンパス内に完成予定の新学生寮（女子寮）へ移行いたします。

(1) 申込方法

入寮希望者は、合格者に送付する合格証等の書類に同封されている「2022年度東京音楽大学学生寮入寮申込書」に必要事項を記入のうえ、入学手続書類に同封し郵送してください。

(2) 選考

新年度の入寮可能数内で入学試験の成績・調査書類等を総合的に考慮のうえ大学が決定します。申込者多数の場合、入学試験に合格しても入寮許可にならない場合があります。

(3) 発表・手続

- ①入寮を許可する者には、大学から直接通知します（12月下旬予定）。
- ②入寮許可後に辞退する場合は、至急学生支援課へ電話でご連絡ください。
- ③入寮手続の詳細は、大学からの入寮許可通知とともにお送りする入寮手続書類を参照ください。

(4) 施設・設備

- ①所在地 〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷3-22-10（池袋キャンパス敷地内）
- ②入寮定員 100名（全て1人部屋）
- ③建物の構造 地上5階
- ④寮室間取 8㎡
- ⑤寮室備品 デスク、収納棚、ベッド、エアコン、※Wi-fi完備
- ⑥付帯設備 ロビー、談話室、浴室、洗面所、洗濯室、パソコン、コピー機

(5) 入寮費用

入寮金（入寮時のみ）	寮費
80,000 円	約 80,000～85,000 円（月払い・食費込） ※朝・夕 2 食（日・祝含む）

- ①寮費（月額）は、1 年間にかかる総額の 12 等分となります。
- ②上記費用は、物価の高騰等により値上げする場合があります。

(6) その他

- ①夏期・冬期・春期休業期間中は、閉寮となります。
- ②寮生としてふさわしくない行為があった場合、退寮となることがあります。
- ③入寮申し込みの際には、必ず入寮案内で詳細を確認してください。
- ④不明な点は、学生支援課（TEL 03-6455-2756）までお問い合わせください。

東京音楽大学

【中目黒・代官山キャンパス】

〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1

【池袋キャンパス】

〒171-8540 東京都豊島区南池袋3-4-5

ホームページアドレス <https://www.tokyo-ondai.ac.jp/>

問い合わせ先: 03-6455-2754(入試課直通) 月曜日～土曜日 9:00～17:00

03-6455-2774(FAX)